

特定非営利活動法人 とよなか市民活動ネットきずな
2012年度 事業報告

I. 基調報告

1、 きずな設立の原点での活動の展開

- 「とよなか市民活動ネットきずな」の設立原点として掲げてきた、「新たな価値観で、市民の間の諸関係を再構築する」ための基軸になる「新たな価値観」を模索してきました。新たな価値観とか、諸関係といった、「目には見えないもの」、「形にないもの」に価値を見出す運動が「きずな」の原点でした。
- 「きずな」は、2012年度事業計画で、これまでの活動の中から見えてきた「きずな」の活動理念や活動スタイルを以下のようにまとめました。

[新しい価値観]

- いつでも、どこでも、だれもが、ひとりひとりが自立して好ましい生き方を選択できる、多様性がありかつ柔軟性のある地域社会をイメージし、それを実現するために市民同士の信頼感のある諸関係づくりの媒体になり、支えあいながら市民の“絆”＝ネットワークを多面的につくりあげることをめざします。
- よりよい地域社会の実現にむけては、原理主義に陥らず、かつ「上から目線」でない総合的でかつ多元価値での対応を常に意識し、行政依存にならず、自立した市民が主体的・積極的に諸行動に「参画」し、「市民自治型の分権的社会構造」を構想してすすめます。

[諸関係の再構築]

- 市民同士は、「対等性のある協働」によってお互いに支えあうという社会連帶の考え方でもって議論を深め、整合性のある市民的コンセンサスづくりに努めます。
- 他の分野の「中間支援」団体や市民活動団体とは、それぞれの個性を尊重しながら、活動のネットワークを広げます。
- 行政とは、市民として自立し、「対等性のある協働」のスタンスでかかわり、信頼感を醸成させながら、市民公益に役立つ活動を展開します。

[きずなの活動の特徴]

- ・「市民主体」=行政から自立した「市民公益活動」——「きずな」の民設民営のNPO法人化
- ・運営コストに縛られないための「バーチャル」事務所、「サテライト型」事務所
- ・多様な分野で活動する市民・団体の「横断型組織」
- ・フラットな「ネットワーク型組織」(会員間、人と人、組織と組織、人と組織)
- ・「濃淡を認め合う会員」構成(各種会員、ネットワーク、メール会員等)
- ・会員とそのネットワークでつながった人の「多様なスキル」が資産、活動資源
- ・専門店型・テーマ別市民活動団体(NPO等)や「専門家」市民の集う「場」
- ・自己完結型・包摂型でなく、いろんなものを“つなぐ”「触媒型中間支援」
- ・原理主義でなく、ある意味で“なんでもあり”的「多様性包摂型・総合型」組織
- ・いろんな場面で、中心が変化する「多元中心型」の市民組織
- ・信頼感に基づき“いいかげんさ”を許容できる「柔軟な組織」
- ・自立した市民の「多様な協働」の可能性を模索する組織

2、 きずなの理念を具体化するための模索

「きずな」の「設立原点」を具体化していくために、2012年度は次のような取り組みを模索してきました。

- ・多様な価値観をもつ市民が「納得して」参加する活動の形態を模索しました。市民の輪の広がりは、会員数にみられるように、それほどの成果を上げることができませんでした。しかし、地味

ではあったかもしれません、豊中市民活動情報サロン受託の9年間にわたる「きずな」の事業実績については、市の市民公益活動推進委員会からもようやく一定の評価をいただくことができました。「きずな」の活動の、「見えない価値」「質」への評価でもあったと思います。

- ・サロンでの「ステーション事業」「ウイークリーサロン」「ショーウィンドウ」などに関わってくださった市民活動団体のみなさんの豊中の市民公益活動に果たされた成果の「質」を評価し、「きずな」の今後のネットワーク活動をいっしょに進めていきたいものです。
- ・ポスト豊中市民活動情報サロンのあり方検討については、いろんな場で会員間の意見交換を行い、みんなで「自主的に」サロン受託を「卒業」することを決めることができました。追い込まれての決断でなく、自主的に次の活動ステージに転身したことの積極的意味を、これから活動に活かしていきたいものです。
- ・豊中市民活動情報サロンの運営受託は、「豊中市民公益活動協議体」が引き継いでくださることになりました。協議体構成団体とのこれまでのネットワークを大切にしながら、市民にとって有意義な「場」となるよう一利用団体として応援をしていきます。
- ・「きずな」の新しい事務所は、玉井町のNPO法人である郷市民委員会の事務所の一部を使わせていただくことになり、3月31日にサロンから引っ越しました。フリースペース「WILL SPACE」も活用させていただき、「きずな」の諸活動を進めていきたいものです。
- ・市民活動との多様な連携の模索として、テーマ別などに気軽に参画できる多様な活動の「場」づくりとして、これまでの「もうひとつの価値観から地域社会を構想する研究会」や新たな「豊中の歴史研究会」を続けてきました。また、「障害」者福祉や高齢者福祉、市民文化などのテーマ別研究会づくりの検討などを行いました。
- ・市民主体の活動スタイルとして、いろんな分野で市民が自主的に活動する「実行委員会」方式を模索してきました。豊中まつり「市民ふれあい広場」部会、「豊中の市民文化を支える会」の「市民文化祭」を実行委員会方式で構成し、「きずな」はその触媒役・支え役を務めてきました。「きずな」の次のステージでの活動展開模索にあたり、「きずな」の役割を軽くし、新たな担い手へのバトンタッチのため、実行委員会構成に移行してきました。
- ・「市民活動ガイドブック」づくりをきっかけに始まった分野を越えた中間支援組織のネットワーク「共同デスク」が、それぞれの団体の組織再編や指定管理制度移行等の変化にもかかわらず、年間を通して活動してきました。新たに、豊中市スポーツ振興事業団も参加してくださいました。
- ・「きずな」の新役員体制については、今年度が「きずな」10周年事業など、活動の継続課題が多いことから、全員留任を基本に、一部補充という体制になりました。

II. 事業の実施概要

2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)は、「きずな」として、NPO法人を設立して9年目を迎えました。特定非営利活動に係る事業としては、定款に掲げた事業のうち、

- ①市民公益活動の幅広い活動の場や機会を提供する拠点運営事業では、「2012市民文化祭」などを、
- ②情報収集・提供事業として、機関紙『いろいろえんぴつ』発行、ホームページなどを、
- ⑤調査・研究・政策提言事業として、「もうひとつの地域社会のありかたを構想する研究会」、
- ⑦コミュニティ活動を推進する事業として、「豊中まつり・市民ふれあい広場」の企画・運営などを、
- ⑧その他当法人の目的を達成するために必要な事業として、豊中市市民公益活動推進条例に基づく提案公募型委託事業として、豊中市民活動情報サロンの運営受託団体公募に応募、受託を、
等々、各事業に取り組みました。(①②などの○数字は、定款に掲げた項目のナンバーです)

その他、ネットワーク組織活動の運営を図るため、月例定例会、理事会・拡大事務局会議などを開催してきました。(2012年4月以降・経過日誌、別表1)

Ⅲ. 特定非営利活動に係る事業

(1) 市民公益活動に関するコーディネート・ネットワーク事業

「きずな」が目指す「中間支援活動」という目標を具体化するため、交流や共同活動を進めてきました。こうした取り組みの特徴を一層強調していくため、2011年度の事業計画からは、「交流・サロン事業」という事業名称を「コーディネート・ネットワーク事業」と改め、新たな関係や、場づくりを通して、「媒介役」となっていくよう、下記の取り組みを行ってきました。なお、2013年度事業計画では、「ネットワーク・サロン事業」と再改称しています。

■コミュニティ政策室主催「マネジメント講座」を後援

- ・市民公益活動の基本を学び、活動のすそ野を広げていくことや活動推進助成金の利用促進をはかることを目的に、2012年度は、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21が企画実施団体に決まりました、きずなは後援のかたちで参加しました。内容は、10月21日「自治会と現代日本社会」、参加者同士の交流会、11月4日「団体運営のポイントを学ぼう」、11月11日「自分の活動を伝えてみよう」、11月18日「仲間集めのヒントを知ろう」、12月2日「組織の健康診断をしよう」でした。

■「2012・市民文化祭」

- ・「2012・市民文化祭」は、12月15日(土)、13時～16時。12団体の参加により、すべてつホールで開催しました。
- ・主催団体は、2010年10月に「市内で文化活動を推進する諸団体の連携による手づくり文化の芽を育み、交流と市民への発信を深め、地域コミュニケーションの輪を広げていく活動を支えること」を掲げ結成した「豊中の市民文化を支える会」で、後援として、(財)とよなか男女共同参画推進財団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21、豊中市労働組合連合会、世界連邦運動協会豊中支部、きずな、という構成で実施。また、運営資金を補填するため、当日のプログラムへの広告掲載や協賛金を広く募りました。
- ・参加団体は、別表3のとおりでした。

■その他

- ① 大阪ボラ協が、関西NPO支援センターネットワーク(KNN)など府内のNPO支援センターに呼びかけ2011年度事業に実施した「大阪府『新しい公共支援事業』の「NPOの支援的財源の増強」と「NPO支援センターの支援力向上」に引き続き、2012年度は「市民への寄付の啓発」を新規目的に加え、市民に寄付を呼び掛けるためのキャンペーン等の事業に、きずなもKNNの一員として参加しました。

- A. 認定NPO法人取得キャンペーン
- B. 寄付集めの協力者の開拓
- C. 「NPOへ支援的財源拡充のノウハウ伝授」集合型研修の実施
- D. 「ファンドレイジング・大阪(仮称)」の開催
- E. 「支援的財源拡充のためのプログラム化支援」出張・継続型コンサルティングの実施
- F. 「NPO支援センタースタッフの実践力向上」「会費・寄付拡充研究会」の開催

- ② 12月2日、国際交流センターで、第5回北摂市民活動センター交流会を豊中で開催しました。北摂各地域の中間支援組織から20名の参加がありました(オブ参加2名)。それぞれの地域での活動報告をしあい、現状や課題について意見交換しました。その後、懇談会を15名参加で行いました。

- ③ 豊能地区市町村NPO担当課長連絡会議に中間支援組織として参加し、2月2日、みのお市民活動センターで、「豊能地区協働検討会&NPO交流会」を開催しました。

(2) 市民公益活動に関する情報収集・提供事業

■「共同デスク」

- ・2011年3月、豊中市内の5つの中間支援団体が協力して、「2011とよなかの市民活動ガイドブック」を作ってきた「ご縁」を続けていくうと、分野をこえて、各中間支援の動きや課題など意見交流や情報発信をしようと壁新聞つくりなどに取り組んできました。2013年度からは、新しく(公財)豊中市スポーツ振興事業団も加わることになりました。
- ・5つの中間支援団体は、(社福)豊中市社会福祉協議会、(公財)とよなか国際交流協会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21ときずなで、2012年度は、7月に「壁新聞第4号」、8月に「壁新聞第5号」、2013年1月「壁新聞第6号」を発行しました。また、9月2日に国際交流センターで、「あなたの居場所」をテーマに「語らいカフェin共同デスク」として、社会福祉協議会藤岡さんの話からトーク、きずな「地域の活動場所を訪ねて」の開催経過(11箇所)を展示しました。

■市民活動情報誌(ニュースレター「いろいろえんぴつ」)の発行

- ・ニュースレターの「いろいろえんぴつ」は、4月に第22号、9月に第23号、2月に第24号を発行した。第15号から、「きずな」会員や関連団体の催し、活動情報、共催／後援情報を掲載した「きずなダイアリー」を印刷、「いろいろえんぴつ」に挟み込んで配布をしました。

■インターネットを利用した情報収集と提供

- ・きずな事業の紹介、受託したサロン事業の紹介などの情報をネット上で発信するため、ホームページを構築、IT部門・コンテンツ検討グループを中心に、日々、情報の更新をしてきました。
- ・なお、2012年4月から2013年3月までの「ページアクセス数」の合計は83,623件、月平均約6,969件でした。(前年度より約5%増)

(3) 市民公益活動に関する調査・研究・政策提言事業

■「もうひとつの地域社会のありかたを構想する研究会」

- ・豊中市の市民公益活動や市民自治の具体化などを、気軽に情報・意見交換し、現状や課題の共有と協働行動につなげていくために、「もうひとつの地域社会のありかたを構想する研究会」というタイトルで読書会などを行ってきました。2012年度は、4月に、これまでの議論をふまえた「もう一つの価値観から社会(地域社会)を構想(空想)する研究会」中間まとめが永田さんから出していました。そのうえで、6月28には、桃山学院大学の津田直則教授による「連帯と共生をめざす視点から見た構想研へのコメント—新たな社会経済システムを考える方法論」と題して講演をきずなの定例会と合わせて実施しました。7月19日には津田先生の講演会の振り返り、8月22日、9月25日、1月25日、2月15日には永田さんから「四、”あってほしい社会”を構想する 各論編」、10月24日、11月21日には久保秀美さんから「私の考えるもう一つの地域社会」が報告されました。また、3月21日には永田さんから「もう一つの価値観から TPP(環太平洋経済連携協定)の意味を考える」が問題提起されました。

■図書館、コラボ、ESD、KNNの市民と協働型取り組みに参加

- ・国連の「持続可能な開発のための教育」(ESD)を進めるためのゆるやかなネットワーク組織である「ESDとよなか連絡会議」、岡町図書館の呼びかけで取組まれている「地域情報アーカイブ化事業実行委員会」、千里文化センター「コラボ」で設置された「千里文化センター市民運営会議」、NPOを支援する中間支援機関やグループによるネットワーク組織「関西NPO支援センターネットワーク(KNN、2005年発足)」などに、きずなメンバーが参加し、市や様々な団体と共に「協働」の具体化に向けた議論や情報交換に参加してきました。

○ESD…10月27日コラボまつりで、「千里豆記者探検隊」を実施しました。

○千里文化センター市民運営会議…会議に参加しました。

○KNN…研究会、報告、意見交流しました。

(4) 豊中まつり「市民ふれあい広場」の運営

○2012年度豊中まつりは、8月4日(土)～5日(日)の2日間、豊島公園ゾーンの「市民ふれあい広場」の企画・運営にあたりました。前年に引き続き、早い時期から実行委員会体制を立ち上げ、出店（飲食・遊び・ゲーム）、ステージ（市民活動団体による歌・ダンス・演奏、市民活動団体紹介コーナー、ガンバ大阪ふれあいコーナー）など、色々な準備に取組みました。ステージでは、参加団体を紹介しあう「市民ふれあいタイム」を設けたり、パンフレットで参加団体の活動を紹介するなど、市民公益活動の認知にも力を入れました。「市民ふれあい広場」と「きらめき通り」の出店グループからの「一言メッセージ」を掲載した会場マップを当日、会場で配布しました。（豊中まつり参加団体一覧表等は、別表2）

○9月3日には、「市民ふれあい広場」の反省会を開き、感想などを話合いました。

○豊中まつり全体の運営では、市民事務局等に参加、12月25日の「サンタ夢宅配便」などにも取り組みました。2013年度の豊中まつりは、8月日(土)～日(日)の日程が決まり、「ふれあい広場」の実行委員会も3月には始動したところです。

○また、豊中まつりは、これまで、まつり推進会、実行委員会、運営事務局など運営体制を、行政や事業者団体、市民団体などが担い手として構成されてきましたが、2012年2月に設立されたNPO法人ラブとよネットが中核となってすすめられるようになりました。この法人は、「豊中まつりを中心とした様々な事業を通して多くの『わがまち』を愛する人で構成される『まち』の創造をめざす」ことにしており、きずなはこれまでどおり、広場部会として参加すると同時に、同法人が、色々な活動に対して、「共催」「協賛」など、ネット活動などをうまく使ってつないでいくことにしています。

(5) 市民活動情報サロンの運営受託

○2004年7月から、市の市民公益活動推進条例に基づく提案公募型委託事業として、豊中市民活動情報サロンの運営を受託してきた。事業の内容は、市民公益活動関連情報の収集・提供、市民公益活動団体の交流スペース提供、相談業務、市民団体の情報発信・啓発講座などで、事務局メンバーを中心に、サロン業務の実施にあたってきました。2010年度の公募では、「人と人、組織と組織、人と組織をつなぐ触媒型「中間支援」組織として、他施設・他団体との連携と役割分担をはかっていくこと、また、豊中駅周辺に社協、国際交流協会など中間支援機能もつ組織が集まる中、それら組織との連携を考えている」といった視点からプレゼンテーションを行い、採用されました。

○ただし、市が公募に際して提示した4課題（①サロン利用者数減の背景や要因整理、②学生など若い世代へ働きかけ検討、③市民ニーズ把握、利用者視点運営、④市出資公益法人の状況や公共施設の整備など社会環境の変化の中でサロンの役割・あり方を開かれた場で議論）の対応方向提示が「条件」に付されたため、市とも協議しながら、サロンのあり方検討の場「市民活動情報サロン"事業見直し隊"」に取り組み、2011年度、2012年度の受託契約に継続することになりました。

○2012年度のサロンの特徴的な取り組みとしては、ウイークリーサロンとして、団体交流シリーズ、また、地域交流シリーズとして、市内各地域で、この間目立つようになってきている「開かれた交流スペース」をたずねていくシリーズを昨年度に引き続き取り組みました。（表4）

○市民活動情報サロンの2013年度以降の受託をめぐっては、9月5日の理事会で、来年度の募集には応募しないことを決定しました。その理由としは、「現役員それぞれの環境変化（家庭の事情、高齢化等）により、活動にかかる条件が変化してきている。とくに、情報サロンの役員スタッフの常駐については重い負担になってきている。幸い、「きずな」の体力は小さいながらも不安がない状況にあり、体力のある段階で次のステップに踏み出した方がいいとの判断に立ち、今後は、より自

立し市民的自由度をもった新たな市民公益活動のあり方を模索していきたい。」というもので、以降の定例会などの場で、「きずな」のネットワークを維持する体制などの課題と関係付けながら議論をすすめていきました。

(6) その他市民公益活動に関する事業

- 市民活動に対する关心や疑問、これから活動したい人たちに対しては、運営受託している市民活動情報サロンの相談事業や、「豊中まつり」などの会場に相談受付を設けるなどの事業を通して取り組んできました。情報サロンで行っている相談では、NPO 法人認証申請などの書類の書き方だけでなく、グループとして活動を進めていく上での、活動目標の分かりやすさや、社会資源確保の現実性など、多少踏み込んだ相談など、きずなとしてできるサポートやアドバイスも織り交ぜ対応してきています。こうしたグループやメンバーの中には、きずなの独自事業での共同など様々な関係が生まれてきています。様々なグループに対するサポート活動をとおして、支えあう関係が広がっていくことは、きずな活動のベースとなる活動です。
- (財) とよなか国際交流協会、(財) とよなか男女共同参画推進財団、(社福) 豊中市社会福祉協議会、(特活) とよなか市民活動ネットきずな、豊中市(職員研修所、コミュニティ政策室)といった市民活動に関連する団体と市の関連部局は、2001年度から2006年度まで、共同で「ボランティアトレーニング・コース」(活動体験希望者と受け入れ団体とをマッチングするイベント)に取組んできた。2007年度からは、広く呼びかけるイベントは行わず、「ボランティア活動支援団体意見交換会」として、各団体の年間スケジュールやボランティア活動支援の取組みなどについての意見交換を図ってきた。2012年は8月7日に、情報交換を行いました。

IV. その他の事業

2012年度は、行わなかった。

(表1) 2012年度・特定非営利活動法人 とよなか市民活動ネットきずな・経過日誌

	行事・事業関係	きずな会議関係	市民活動情報サロン関係
4月	4 豊中まつり・ふれあい広場・実行委	4 拡大事務局会議	
	11 市民文化祭・実行委員会	18 構想研究会	19 コミュニティ MT
	24 共同デスク	25 定例会	WS:島田ふれあいなど団体交流
	「いろいろえんぴつ」第22号発行		
5月	10 豊中まつり・ふれあい広場・実行委	2 理事会	2 Emu academy 大阪校実習受入
	11 歴史を語る会	16 会計監査	
	16 豊中まつり・合同会議	18 構想研究会	23 WS:新しいNPO、ラブとよ
	17 共同デスク	24 総会	31 コミュニティ MT
6月	11 市民文化祭参加説明会	6 拡大事務局会議	
	13 豊中まつり・広場・実行委	8 歴史を語る会	15 WS:桜塚校区福祉会なかよし
	14 共同デスク	28 定例会	21 WS:おやつ宣言
	28 市民文化祭参加説明会	28 津田先生講演会	27 コミュニティ MT
7月	9 市民文化祭実行委員会	4 拡大事務局会議	11 WS:知育の活動場所 kitto
	17 共同デスク	13 歴史を語る会	20 コミュニティ MT
	19 豊中まつり・ふれあい広場実行委	19 構想研究会	20 WS:若者就労支援 zutto、まーる
	25 豊中まつり・ふれあい広場ステージ	26 定例会	
8月	4~5 豊中まつり・市民ふれあい広場	1 拡大事務局会議	4 サロン休館
	7 共同デスク、ボラ活動支援団体意見交換		23 コミュニティ MT
			21 Emu academy 大阪校実習受入
	23 市民文化祭実行委員会	29 定例会	23 WS:豊中なつりふれあい広場参加
9月	2 共同デスク「語らいカフェ:居場所」	5 拡大事務局会議	
	3 豊中まつりふれあい広場反省会		13 WS:地域の活動場所庄内 zutto
	25 市民文化祭実行委員会	25 構想研究会	20 コミュニティ MT
	「いろいろえんぴつ」第23号発行	27 定例会	20 WS:サロン利用団体交流
10月	24 市民文化祭実行委員会	3 拡大事務局会議	12 WS:地域の活動場所桜井谷地域活動
	26 歴史を語る会	24 構想研究会	18 コミュニティ MT
	30 岸和田市企画から協働でヒアリング	29 定例会	19 Emu academy 大阪校実習受入
			18 WS:資格を活かした活動
11月	13 市民文化祭実行委員会	7 拡大事務局会議	2 コミュニティ政策室とサロン振り返り
	22 歴史を語る会	19 構想研究会	8 WS:夢基金助成団体交流
	29 共同デスク		13 WS:地域の活動場所ウィルスベース
		29 定例会	21 コミュニティ MT
12月	2 北摂市民活動センター交流会(国流)	5 拡大事務局会議	11 WS:夢基金助成団体交流
	5 ラブとよネット事務所オープン	14 歴史を語る会	16 コミュニティ MT
	15 市民文化祭 すべてっぷホール	19 定例会・忘年会	
	21 共同デスク		
2012年1月	16 市民文化祭実行委員会	9 拡大事務局会議	17 WS:豊中の市民活動・過去現在未来
	17 共同デスク	18 歴史を語る会	27 WS:地域交流、ココカラ
	17 沖縄市から民が創る祭り視察	31 定例会	30 コミュニティ MT
	22 豊中まつり運営委員会		

2月	14 豊中まつり・ふれあい広場・実行委	6 拡大事務局会議	2 豊能地区協働検討会・箕面市民活動セン
	18 寝屋川市民活動ネットなかまから視察	15 歴史を語る会	14 WS：共同デスク 5団体協働
			16 コミュニティ MT
3月	「いろいろえんぴつ」第24号発行	27 定例会	20 WS：市民が拓く地域の活動場所
	6 市民文化祭・実行委員会	6 理事会	14 コミュニティ MT
	15 豊中まつり・ふれあい広場実行委	15 歴史を語る会	14 WS：新年度受託団体の抱負を聞く
	26 共同デスク	21 構想研究会	21 公益活動協議体一市一きずな「引継ぎ」。
		27 総会、理事会	

KNNは、関西NPO支援センターネットワークの略。WSは、ウイークリーサロンの略。MTは、ミーティングの略。

(表2) 「2012~2013 豊中まつり」

■「市民ふれあい広場」参加団体

●テント出店

(特活)あいの郷市民員会	豊中マンション管理士会	リサイクル工房・竹炭塾	スローライフさくら
子育てサポートグループ your friend げんき 村	豊中市民劇場 劇団“萌”	(特活)オリーブの園	音遊
(社)大阪府柔道整復師会豊中支部会	豊中地区更正保護女性会	(特活)ふれあいネット	熊野田青年の会
(特活)国際交流の会とよなか(TIFA)	タイの店	ネパールの店	ペルーの店
(特活)とよなか市民活動ネットきずな	おもちゃづくりサークル	高齢者法務支援ネット	

●ステージ

(社福)あさひ会	(特活)パコ	ムラサキ	丸石輝正
月歩理奈	あらぐさの会	フアラライ	Toyonakas '75
手話パフォーマンス虹とんぼ	とれぶりんか	千里さてさてクラブ	ティアレ
PENI&坂野雄亮	麻衣夢	アクアジャズオーケストラ	未来太鼓道場
カクテルホイップ	K2.dance-soul	豊中フラサークルアメリア	はーもにーらんど
ちめいど	ガンバ大阪	フラハラウ・オ・カレイレフア	Hip Mom Do
SHaY Le BeLL.Y Dance+Yoga	ゆいゆい会	CHECK DoLL	三線サークル風唄
フローレス・デュオ			

■きらめき通り

(社) 大阪府鍼灸師会豊中地域	いーなポン俱楽部	近畿ろうきん
リユースを考える会	リサイクルクラブ	

■「豊中まつり2012」8月4日(土)、5日(日)、及び、「豊中まつり2013」に向けた全体の会議と開催日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議	24	22	26	17		21				22		
事務局会議	17	15	12	10		4	25			15		19
合同会議		16		18				14				19
市民事務局会議	10	8	5		20		25					14

・6月18日、出店説明会。7月30日、まつりボランティア説明会。

■「豊中まつり・市民ふれあい広場」関係の会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実行委員会	4	10	13	19		3					14	15

(表3) 「2012・市民文化祭」:12月15日(土)

■参加団体

世界連邦豊中フリージアコーラス	ぐりの木コーラス& 童謡の会	マロン・ド・アンサンブル
きんぎよ～ず	ひよこ	サークル α(アルファ)
豊中市民劇場 劇団“萌”	リコーダー・アンサンブル tutu (トウトウ)	ハウオリ緑地教室
Hip Mom Do	ポリネシアン・フラダンス ティアレ	はなみずき&グループヴィオレ

(表4) 市民活動情報サロン・ウイークリーサロン

	団体交流ほか	地域交流
4月	19 市民公益活動団体情報掲載団体交流	
5月	23 新しくNPOになった団体	16 サポネの家
6月	21 事業者とNPOの協働「おやつ宣言」	15 桜塚校区福祉委員会事務所なかよし
7月	20 若者の就労支援べーでん他	11 コミュニティカフェ kittto
8月	23 豊中まつりふれあい広場団体と協働考える	
9月	20 サロンの利用団体と活用を考える	13 若者の居場所づくり zutto
10月	18 専門資格を活かした市民公益活動	12 桜猪谷地域福祉活動支援センター
11月	8 夢基金助成団体交流	13 地域の活動場所ウィルスベース
12月	11 夢基金助成団体交流	
1月	17 豊中の市民活動一過去・現在・未来	27 コミュニティカフェ ココカラ
2月	14 共同デスク5団体協働	20 市民が拓く地域の活動場所(※)
3月	14 新年度受託団体の抱負を聞く	

(※ この回のみ、情報サロンで開催)